

序章

古染付・祥瑞を知るために

- 一 染付船載の歴史
 - 二 景德鎮窯業史概観
 - 三 古染付について―定義・名称・研究史・課題―
 - 四 祥瑞について―定義・研究史・課題―
- 景德鎮の遺跡で発見された
古染付・祥瑞などの破片資料について

カラー

古染付・祥瑞「茶道具」

第一章

古染付と祥瑞―分類と特徴―

- 一 古染付の分類と特徴
- 二 古染付に見える朝鮮時代の造形について
- 三 祥瑞の分類と特徴
- 四 祥瑞の文様についての一考察

第二章

茶の湯における染付受容の様相

- 一 十六世紀の茶の湯と染付
 - 二 十七世紀前半の茶の湯の様相
―小堀遠州を中心に―
 - 三 元和・寛永期の徳川將軍家の茶の湯
 - 四 遠州の茶会記記載の染付
- 遠州の茶会記について

第三章

古染付・祥瑞の注文主と受容層

- 一 古染付の注文主について
- 二 古染付・祥瑞の受容層について
―出土資料を中心に―
- 三 注文の形態についての一考察
―『末次平蔵御闕所御拂帳』を中心に―
- 四 鍋島勝茂の書状からの検討

カラー

古染付・祥瑞「懐石具・食器」

第四章

古染付と祥瑞―碗・皿―

- 一 常器古染付の絵付についての一考察
- 二 古染付型打ち成形による器種
―「型物向付」「型物香合」その意匠の共通性―
- 三 出土資料から見える祥瑞の展開
- 四 古染付煎茶碗考

第五章

十六世紀船載の中国青花磁器

- 一 十六世紀遺跡出土の景德鎮窯青花磁器
- 二 景德鎮観音閣窯遺跡出土の陶磁器について
- 三 観音閣窯の位置付け
- 四 「天文年造」銘白磁小皿について
- 五 天文年間の様相―大内氏を中心として―
- 六 船載ルートについて

おわりに

あとがき



※写真図版頁に示した法量の値は、センチメートルである。
本文頁に示した(写真)に続く番号は、写真図版の番号である。
本文中に示した(図)に続く番号は、本文挿図写真の番号である。
作品の名称については、各所蔵館などの表記と異なる場合がある。

古染付と祥瑞―その受容の様相―

目次